

# 万葉集から読み解く

## 万葉びとの遊び文化



奈良文化財研究所 平城宮跡資料館

万葉集には<sup>ぎしよ</sup>戯書と呼ばれる「ことば遊び」が多く見られます。戯書とは、万葉集における用字法のひとつで、遊戯的な目的や表現する技術が認められるもので、現代でいうあて字です。また、万葉歌の書かれ方には、万葉びとの当時の遊びが潜んでいるものも垣間見られます。

この講座では、まるで暗号のような万葉集のことば遊びや万葉歌に出てくる当時の遊びについて楽しく読み解いていきます。

### 11月12日(金) 14時~16時(全1回)

■講師／東城 敏毅(ノートルダム清心女子大学 教授)

■対象／一般(15歳以上)

■定員／15名

■受講料／200円

■締切／10月29日(金) ※必着

■会場／ライフパーク倉敷 2階 特別会議室

#### 申し込み方法

次のいずれかの方法で、ライフパーク倉敷市民学習センターまでお申込みください。  
各申し込み方法の詳細は、チラシの裏面にてご案内しています

■往復はがき(締切日必着)

■所定の申し込み用紙に記入して窓口へ(返信用の切手または切手代が必要)

■倉敷市電子申請サービスを利用(インターネット)

#### お問い合わせ

ライフパーク倉敷 市民学習センター ☎ 086-454-0011